



福岡公民館だより 11月号



発行：ふくおかまちづくり協議会 福岡公民館 TEL72-2144

日常の公民館活動が再開しました

国の新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態措置が9月30日に解除されました。10月1日より、公民館の利用が可能となり、公民館講座やサークル活動が再開し、公民館に人が戻ってきました。この秋に予定されていた「ふくおか文化展」や「ふくおか産業祭」は中止されましたが、少しずつ行事も取り組みが進んでいます。しかし、感染症対策は、引き続き大切です。必要な感染症対策を実施しながら、様々な活動をしていきたいと思えます。

福岡公民館短期講座のお知らせ

11月に開催する福岡公民館短期講座「宝石とドライフラワーを使って」の講師の作品を公民館ウインドウギャラリーで、11月12日（金）まで展示しています。

興味のある方は、ぜひ来館しご覧いただき、講座にチャレンジしてください。

11月広報と同時配布の別紙申込書にてお申し込みください。

公民館ウインドウギャラリーに作品展示中



福岡公民館図書室 古本市開催のお知らせ

開催期間 11月8日(月)～11月19日(金)

場所 福岡公民館 ロビー

一人 2冊まで

本年度も、コロナ禍のため図書室まつりの開催は中止としますが、楽しみにしていた古本市は開催いたします。

ご来館の際は、公民館を利用される方と同様に、玄関での手指消毒やマスク着用、「新型コロナウイルス感染症予防拡散防止チェックシート」のご記入もお願いします。

福岡中学校区PTA家庭教育学級のお知らせ

H29年度より開催されてきた福岡中学校区PTA家庭教育学級は、今年で5年目になります。今年度も新型コロナウイルスの影響で6月の家庭教育学級が中止となりましたが、11月に2つの講演会を予定しています。

11月12日（金）安川雅史先生（ネットいじめ対策協会代表理事）「ネット社会での子育て」

11月25日（木）青山朋宏先生（岐阜小学校運営協議会）「コミュニティ・スクールとは？」

いずれも会場は福岡小学校で、新型コロナウイルス感染症対策を実施して行います。

国の施策として、子ども達は一人一台のタブレットを使用できる時代になりました。また、R5年度より「コミュニティ・スクール」をすべての学校で発足させることも決まっています。新しい時代に保護者として、どんな関わりができるのか考える絶好の機会ですね。

常盤座での催し物の紹介

♪11月 6日(土) 加藤拓三 和太鼓コンサート'21—希望—
夢に向かう一人の恵那人

◇開場 13:00 開演 14:00

★前売券 3,000円 当日券 3,500円（全席自由）

♪11月14日(日) 日本舞踊瑞鳳流 中津川支部発表会 常盤座公演
令和3年度文化庁伝統文化親子教室事業

◇開場 13:00 開演 13:30（終演予定 15:00）

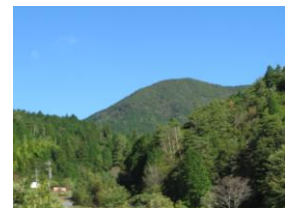
★入場無料



「ふくおかの偉人」シリーズ No.2

先月号に引き続き、加藤景廉にかかわる伝説を紹介します。

福岡町の伝説「高時山」



新田から見た高時山

柏原川に沿って県道黒川線（現在県道白川福岡線）を上ってゆくと柏原新田の集落に着く。ここの「高時山」には語り伝えられている一つの伝説がある。

昔、この山に遠山荘の始祖、加藤景廉の息女であった景勝院尼公が庵室を結んで、わびずまいをしていた。尼公は子供がないことを悲しみ八幡宮へ百日参りの祈願をしていた。願いが叶ったのか或る夜、一羽のワシが尼公の寝室に入り羽根三本を残して飛び去ったというのである。不思議な思いで暮らしていた尼公であったが、一人の男子を生むことができた。信心のおかげと喜んだ尼公は、この子に捨子と命名し愛育した。捨子は日に日に成長し、不思議なことに脇の下にワシの羽根三本ずつ生え、その後は奇妙無双の怪力の持ち主となった。或る時は天を翔け、池を走り、人々は、「はやわざ鳥が飛ぶ如し」とたたえよんだ。

強者の武士となった捨子は、その後、苗木遠山左衛門尉景村に仕え、名を勝若と改めて戦功をあげ、のち檜原刑部高時と号し、ワシの羽根をとって旗紋印とした。

「町報ふくおか」吉村滋祺氏寄稿文より抜粋